## 会外団体との連携・協調　地嵜　剛史

　日本医師会に代議員２名を大阪府医師会に理事１名を送っている。大阪府医師会の代議員会には代議員・予備代議員を各 10 名送っている。

　府医の各種委員会及び各種部会にそれぞれ委員を推薦し、府医師会業務の推進を努めている。

担当理事連絡協議会に出席し、連絡に遺漏なきに期している。

　郡市区医師会長協議会は定例に月１回開催されている。会長はこれに出席し、その内容を理事会に報告している。又、内容抄録を月報に掲載している。

　豊能保健医療懇話会では医療部会、歯科保健部会、救急部会３つの部会に分かれて各問題を検討してきた。

　豊能地域メディカルコントロール協議会は二次医療圏の豊能地域における救急業務の高度化を図り、救急活動の事後検証や研修を行い、救命効果のさらなる向上を図っている。　府警に関し、豊中及び豊中南警察署に警察医、産業医を推薦し協力している。又、豊中警察署長を会長とする豊中市被害者支援協議会に参画し協力している。

　豊中市に関しては、学校保健会、障害児に関する各種委員会、母子保健事業、予防接種、保健医療審議会、介護保険事業、食推進協議会、歯科保健、国保運営、公害、防災、市立豊中病院運営、医療保健センターの運営、社会福祉協議会、健康とよなか 21 ねっとわーく豊中医療保健センターの各種会議に参画し、協力している。また、一般財団法人大阪国際空港メディカルセンターの運営に携わっている。

　豊中市歯科医師会、薬剤師会とは三師会として、豊中市の各種会議に参加し、また、市民健康展を開催するなど地域の保健医療福祉等の増進のため協力している。

　近接４市（豊中、池田、吹田、箕面）医師会の正副会長、事務長、会議を開催し、四市医師会の連携を強化している。虹ねっと連絡会に参加、市域での多職種連携による在宅医療の推進に取り組んでいる。